



がん相談支援センターのアンケート調査を行いました！

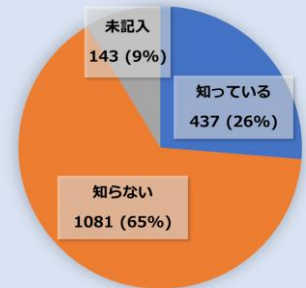
令和3年11月に当院が実施する入院と外来患者さんに対してアンケート調査を行いました。今後より良い病院、がん相談支援センターとしていくために、周知度や周知に至った経緯、相談内容、利用満足度を把握し、対応の改善と質の向上に役立てていきます。

結果は、がん相談支援センターを知っている方は26%のみでしたが、がん患者さんに限っては6割の方が知っているとの回答でした。利用率は2割と低く、「利用できるのは当院で診断された人だけだと思っていた。

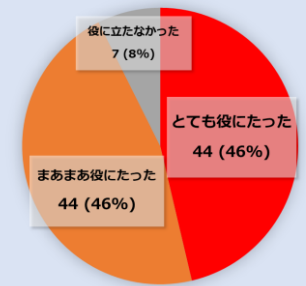
“誰でも無料で”を知らない人も多いのではないですか？」などのご意見をいただき、さらに効果的な周知の方法を模索しています。

利用した方の9割が役に立った、今後また利用したいとのご意見をいただき、高い満足度を得ています。がんと診断された初期から、患者さん・ご家族、院内・院外の患者さん、どなたでもご利用いただけますので、どうぞお気軽にご相談ください。詳しいアンケート結果は病院ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

がん相談支援センターをご存知ですか？



相談して役に立ちましたか？



小児・AYA世代がんの長期フォローアップのアドバンス研修を受講しました



小児・AYA (Adolescent and Young Adult: 思春期・若年成人) 世代のがんでは、再発や転移の他に、抗がん剤や放射線治療の影響が長い年月を経て後遺症として現れることがわかってきました。そのため、再発がなくても、定期的にフォローアップしていく必要があります。一般に、小児は15歳未満、AYA世代は15歳～39歳を指しており、特にAYA世代は学業・就労・結婚・出産など人生のイベントが多い時期になります。そのため、厚生労働省は小児がん拠点病院や小児がん連携病院のがん相談支援センターで、病気や後遺症に起因する生活上の相談に対応できるように求めており、小児・AYA世代がんの長期フォローアップ体制整備事業の一環として、研修会を開催しています。

当院は小児がん連携病院であることから、当センターのがん相談員は、小児・AYA世代がんの長期フォローアップに関する研修を修了しており、アドバンス研修についても今年3月に2名が受講修了しています。

また、東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会が、AYA世代がん患者さんに向けて「AYA世代の方への案内（15歳～39歳の皆さんに知っておいてほしいこと）」というパンフレットを作成しており、当センターにも用意がありますので、お気軽にお立ち寄りください。



がん治療と口腔ケア

抗がん剤で免疫力が低下すると虫歯や歯周病になりやすくなります。骨転移に対してランマークやゾレドロン酸を投与中に口の衛生状態が悪く、虫歯や歯周病があると「顎骨壊死（がっこつえし）」（あごの骨が溶けて歯が抜ける、骨が露出して痛みが出る）になることがあります。毎食後の歯磨き、定期的な歯科検診と口腔ケアが大事です！当院の歯科口腔外科への受診希望がある方は、主治医にご相談ください。



次回のWEBがん患者セミナーのお知らせ！ 7月に病院ホームページ上に公開予定です！

テーマ 講師 「抗がん薬の副作用について～正しい情報の受け止め方と考え方～」
がん指導/専門薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師



日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター

東京都板橋区大谷口上町30-1 【電話】3972-0011(直通) 3972-8111(代表) (内線3169)
相談対応時間 平日8:30～12:00, 13:00～16:00 予約受付時間 8:30～16:30